



多摩市立瓜生小学校

# 瓜生小だより

令和元年度 第12号  
令和2年1月31日

## さりげない思いやり

校長 吉田 正行

博多駅まで電車で行った日のこと。高齢に足の悪さが加わり、立っているのがかなり苦痛なのだが、空席はなかった。

車内の皆様は日頃の仕事と勉強の疲れからか居眠り状態だ。スマホを触っている人も多い。人のことなどかまっている余裕はない。無理もないと思う。「杖を頼りに立っていこう」と覚悟した時、声がかかった。高校生と思われる色白の女性であった。「どうぞあちらの席に座ってください」と言う。固辞したが「私はすぐに降りますから」と言って譲らない。厚意に甘えることにした。彼女は隣の車両へ移っていった。

ところが、目的地の改札で彼女とぼったり顔を合わせた。「先ほどはありがとう」と礼を言うと、彼女はほおを赤らめ「うそをついてごめんなさい」と頭を下げてきた。さりげない思いやり。私は一生忘れないであろう。

(令和2年1月20日朝日新聞朝刊「声」の欄から 福岡県 80歳男性)

先日の児童朝会で上記の新聞の投稿記事をもとに話をしました。記事の題は「席譲ってくれた女性の『うそ』」です。「うそ」をついてはいけませんとよく子供たちに話をしますが、この場合の「うそ」は人を傷つけたり、自分をごまかしたりするために使った「うそ」ではなく、相手を思いやっつての「うそ」です。相手の気持ちを優先して考え、思いを伝え、行動に移すことができたこの女子高生はすてきな女の子だと思います。

また、「人のことなどかまっている余裕はない。無理もないと思う」という文がとても気になりました。多忙な日々でも、困っている人を見逃さない広い心の視野を持ち合わせてほしいものです。世の中を心が通った温かい社会にしていくのが大人の役目でもありますし、子供たちに手本を見せていかなければならないと思います。

瓜生小学校の子供たちは、異学年交流やさまざまな体験活動を通して、相手の気持ちをくみ取り、思いやる心が育っています。周りをよく見て、自分ができることを行動に移すことが大切です。

そんな朝会での話をした日の休み時間、階段ですれ違いざま6年生が一言。「校長先生、朝会の話は『うそも方便』っていうことですよね・・・」

さすが瓜生小学校の6年生です。思わず笑みがこぼれました。



どんど焼きオープニングでの5年生の力強い演奏

### 【生活習慣のふりかえり 1月】 □に各自のふりかえりを記入する

あいさつ へんじ  
挨拶・返事

自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………

やさしい言葉  
優しい言葉

優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………

がくしゅう ときしよ  
学習・読書

家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…

しんせつ こうどう  
親切な行動

親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にさせていただきようお願いいたします。